

VMware Horizon Air Desktop DR

Q： Horizon Air Desktop DR について教えてください

A： VMware Horizon® Air™ Desktop DR によって、低コストなクラウドホスト型のデスクトップやアプリケーションを使用して、ビジネスを容易に保護し、ダウンタイムのない作業環境を確保できます。万が一災害が発生しても、クラウドのスピードを活用してユーザーの作業環境を迅速に復旧させることが可能です。物理デスクトップ ディザスタ リカバリ ソリューションとは異なり、複雑な作業を行う必要はありません。企業のリソースに接続された安全なワークスペースを使用して、エンドユーザーは、デバイスや場所を問わず、すぐに作業を再開することができます。VMware が提供するクラウド サービスによって、企業規模を問わず、低コストで、デスクトップ ディザスタ リカバリを利用いただけるようになりました。

Q： Horizon Air Desktop DR の主な機能について教えてください

A： Horizon Air Desktop DR の主な機能は、次のとおりです。

- ダウンタイムのない作業環境：クラウドホスト型のデスクトップディザスタ リカバリによって、ビジネスの保護とダウンタイムのない作業環境を容易に確保
- オンデマンドのリカバリ：クラウドのスピードを活用して、ユーザーの作業環境を迅速に復旧
- 低コストなデスクトップ ディザスタ リカバリ：予測可能なクラウドの経済性を利用して、わずかなコストでデスクトップディザスタ リカバリを実現
- 優れたエンドユーザー環境：万が一災害が発生しても、デバイスや場所を問わず、クラウドホスト型の仮想デスクトップやアプリケーションで、優れたエンドユーザー環境を従業員に提供

Q： Horizon Air Desktop DR の対象となるユーザーを教えてください

A： Horizon Air Desktop DR は、従業員にビジネス継続性を提供する取り組みを検討している企業向けに設計されています。万が一災害が発生しても、デバイスや場所を問わず利用できる、企業のリソースに接続された安全な企業ワークスペースを利用して、ダウンタイムのない作業環境を確保できます。

Q： Horizon Air Desktop DR の販売体系について教えてください

A： Horizon Air Desktop DR をご購入いただく場合、まず、導入と継続的な運用の料金を含む基本サブスクリプション（12 か月以上）が必要です。その上で、ユーザータイプに応じたサービスクラスを基に 4 時間、24 時間、72 時間のリカバリ SLA を組み合わせてデスクトップ予約キャパシティを追加いただくことができます。デスクトップ予約キャパシティには、災害発生時にデスクトップをスタンバイ状態から復旧させる権利があり、お客様からの災害の告知を受けて、利用料金が 1 日単位で発生します。

Q： Horizon Air Desktop DR のサービス クラスについて教えてください

A： デスクトップ予約キャパシティは、3 つのサービス クラスに分類されており、リカバリ SLA を柔軟に組み合わせることで適用できます。ゴールド（8 時間）は、システムを復旧させるうえで重要な役割を担うスタッフ向け、シルバー（24 時間）は、売上の確保に影響するスタッフ向け、ブロンズ（72 時間）は、管理部門スタッフ向けです。それぞれ、デスクトップをスタンバイ状態から復旧させ、使用できるようにするための SLA が関連付けられています。

Q： 災害が発生した場合、どのようなデスクトップ サービスをエンドユーザーに提供できますか

A： エディションごとに、クラウドホスト型デスクトップとホスト型アプリケーションを選択できます。クラウドホスト型仮想デスクトップでは、ナレッジワーカー向けの Standard、パワーユーザー向けの Advanced、開発者やエンジニア向けの Enterprise の 3 種類をご用意しています。ホスト型アプリケーションでは、リモートデスクトップサービスホストのキャパシティを使用して、共有デスクトップやホスト型アプリケーションを公開できます。

Q： Horizon Air Desktop DR に基本サブスクリプションが必要である理由を教えてください

A： Horizon Air Desktop DR をご購入いただく場合に必要となる、導入と継続的な運用の料金を含む基本サブスクリプション（12 か月以上）には、デスクトップイメージ、ネットワークの常時接続、および Active Directory の構成のためのインフラストラクチャが含まれます。基本サブスクリプションによって、デスクトップの構成の変更、最新イメージの保持、ネットワークの常時接続の構成、仮想デスクトップやアプリケーションのアクセスのテストなどを行うことができます。

Q： 複数のサービス クラスを組み合わせることはできますか

A： はい。このサービスは、従業員の職務内容に応じて適用できるよう設計されているので、あらゆるエンドユーザーに、ダウンタイムのない作業環境を提供できます。

Q： Horizon Air Desktop DR の購入方法について教えてください

A： Horizon Air Desktop DR は、VMware 認定パートナーからご購入いただけます。

Q： Horizon Air Desktop DR の仕組みについて教えてください

A： 各組織内でダウンタイムのない作業環境を必要とするエンドユーザーの数を確認後、Horizon Air Desktop DR の予約キャパシティを購入いただき、災害が発生した場合に安全な企業ワークスペースを使用できることを対象となる従業員に告知してください。予約キャパシティを利用することによって、災害が発生した場合にデスクトップをオンデマンドで使用いただけます。

Q： 災害を告知する方法を教えてください

A： VMware グローバル サポート サービスにご連絡ください。

Q： 災害を告知した場合に使用できるのは、予備のデスクトップとアプリケーションだけですか

A： はい。Horizon Air Desktop DR は、従業員向けの保険のような役割を果たします。お客様からの災害の告知を受けて予備のデスクトップやアプリケーションがスタンバイ状態から復帰し、使用可能になります。

Q： スタンバイ状態から復帰できるデスクトップの数に制限はありますか

A： いいえ。必要な数のデスクトップをスタンバイ モードから復帰できます。この数は、VMware から購入いただいた予約キャパシティに応じます。

Q： Horizon Air Desktop DR を利用できる地域について教えてください

A： Horizon Air Desktop DR は現時点で日本をはじめ、米国および英国でご利用いただけます。ヨーロッパ、中東、アフリカなどのその他の地域でのサポートも追加する予定です。

Q： クラウド デスクトップは、WAN や 3G / 4G の接続を介して、どの程度のパフォーマンスを確保できますか

A： 最適なエンド ユーザー環境を維持するには、エンド ユーザーデバイスが 100 Kbps の帯域幅を安定して利用できることを推奨します。

Q： IT の管理とセキュリティについてどのような設定が含まれますか

A： 独自のイメージ、または VMware が提供するゴールド パターンのイメージを使用して、仮想デスクトップやホスト型アプリケーションを作成できます。また、イメージ割り当てのためにデスクトップ プールを作成し、災害の発生時にデスクトップをエンドユーザーに割り当てることも可能です。仮想デスクトップやホスト型アプリケーションを Active Directory 環境に統合するなど、内部ネットワークへの接続のセキュリティも管理し、Enterprise Center や仮想デスクトップに対する多要素認証を完全にサポートするように構成できます。

Q： VDI がなくても Horizon Air Desktop DR を使用できますか

A： はい。Horizon Air Desktop DR は、従業員にビジネス継続性を提供する取り組みを行っている企業に最適です。

Q： DaaS (Desktop as a Service) ソリューションを利用していなくても Horizon Air Desktop DR を使用できますか

A： はい。DaaS ソリューションを使用していなくても Horizon Air Desktop DR はご利用いただけます。クラウド ホスト型のデスクトップやアプリケーションを使用して、災害が発生した場合に、デバイスや場所を問わずに従業員の生産性を維持できる、シンプルなソリューションのため、エンド ユーザーが、クラウド ホスト型のデスクトップやアプリケーションを日常的に使用していなくても、災害が発生した場合に保険の役割を果たします。

Q： デスクトップをすでに仮想化していても、Horizon Air Desktop DR を使用したほうがいいですか

A： はい。デスクトップを仮想化していたとしても、その環境は、特定の使用事例とユーザー数を想定して設計されているはずです。災害が発生した場合に備えて、ビジネスを継続するために必要な従業員全員を対象に、ダウンタイムのない作業環境のプランを策定しておくことをお勧めします

Q： この VMware サービスが使用する表示プロトコルを教えてください

A： Horizon Air は、Teradici PCoIP をサポートしており、VMware View Client によって、ネットワークやデバイスを問わず、優れたエンド ユーザー環境を実現します。ユニファイド コミュニケーション、USB デバイス、3D グラフィックス、マルチメディア、およびジェスチャー機能をサポートしています。

Q： このサービスでは、デスクトップだけではなく、アプリケーションを提供することもできますか

A： はい。VMware Horizon Air Desktop DR 上で、ホスト型アプリケーション サーバと呼ばれる Microsoft RDS ホストのキャパシティを使用して、アプリケーションを公開できます。

Q： ホスト型のデスクトップやアプリケーションから、社内ネットワーク上の共有 IT リソース（ファイル ストレージ、プリンタなど）にアクセスできますか

A： はい。Horizon Air Desktop DR には、Horizon Air が提供する仮想デスクトップやホスト型アプリケーションと社内ネットワークとの間で、安全な接続を構成できる機能があります。また、Active Directory ドメインの一部に仮想デスクトップを構成して、ほかのデスクトップと同じように機能させることも可能です。これは、災害が発生した場合に、ディザスタ リカバリ デスクトップがすぐにネットワークに接続して企業リソースにアクセスできるようにするために、重要な手順です。

Q：デスクトップへのアクセスに使用できるデバイスまたはエンドポイントを教えてください

A：Horizon Air Desktop DR の特徴は、災害が発生した場合に、デバイスや場所を問わず、デスクトップやアプリケーションにアクセスできることです。シンクライアント、ゼロクライアント、PC、Mac、iPad、Android デバイス、スマートフォン、Amazon Kindle Fire、および Google Chromebook からアクセスいただけます。

Q：サポートされている仮想デスクトップのタイプを教えてください

A：Windows XP、Windows 7 Enterprise、32 ビットと 64 ビットバージョンの Windows 7、および Windows 8 です。クライアント インターフェイスがある Windows Server もサポート対象です。

Q：仮想デスクトップやホスト型アプリケーション サーバに独自のソフトウェアをインストールすることはできますか

A：はい。仮想デスクトップやホスト型アプリケーション サーバに独自のソフトウェアをインストールおよび構成できます。

Q：Horizon Air Desktop DR のデスクトップにブラウザからアクセスできますか

A：はい。Horizon Air の仮想デスクトップは、HTML5 ブラウザおよび Google Chromebook からシームレスにアクセスできます。

Q：各デバイスに適した VMware View Client の入手方法とその価格について教えてください

A：各種デバイス向けの VMware View Client は、Horizon Air Desktop DR のサブスクリプションの一部として含まれており、製品のダウンロード用ポータルから追加コストなしで入手いただけます。iOS 用は Apple iTunes Store から、Android 用は Google Play Store からダウンロードできます。

Q：災害を告知した場合に、単一のクラウド ホスト型デスクトップを使用できるユーザー数に制限はありますか

A：デスクトップを使用できるユーザー数に制限はありませんが、一度に接続できるユーザーは 1 人だけです。

Q：Horizon Air Desktop DR のデスクトップから、SQL インスタンスなどの VMware vCloud® Air™ が提供するほかのサービスに直接アクセスできますか

A：はい。Horizon Air のデスクトップを vCloud Air が提供するほかのサービスにネットワーク接続できます。

